

- 1 日 時 令和2年(2020年)8月8日(土) 10:00~11:30
- 2 場 所 荳崎交流センター2階 大会議室
- 3 市出席者 公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係長、係員1名
- 4 一般参加者 27名

5 内 容

(1) 説明内容

令和元年度に実施した荳崎庁舎跡地利活用方策検討調査の結果について、別紙説明会資料を用いて説明した。

(2) 質疑・意見交換(△ : 参加者、○ : 公有地利活用推進課)

今後の工程について、タイムスケジュールを教えてください。

今年度末ごろに公募できればと考えている。その後の整備については、民間事業者のスケジュールもあることから現時点においては、具体的に申し上げることができない。

人口推移の数値根拠を教えてください。また、公的施設である荳崎保健センターを撤去して、民間事業者に新たに建物を整備させることとなった経緯を教えてください。

荳崎庁舎跡地を中心にして半径800mまでの人口を記載している。

サウンディング型市場調査の中で公共施設併設型の商業施設の提案をいただき、その後、地元区長やPTAに説明し、おおむね理解が得られたことや、間に道路が通っており、土地の形状が悪いことから、商業施設を整備する場合は、保健センターを撤去するプランを作成した。

PTAの理解がおおむね得られたとの説明があったが、PTAとの意見交換では温浴施設や公園が欲しいといった意見もあり、スーパーに反対はしていないが、スーパーで良いとの結論にも至っていない。

子育ての孤立化、不登校の問題等もあるため、荳崎保健センターの機能を残してサポート体制は維持していただきたい。高齢化が進んでおり、保健師の役割は大きくなるので、ぜひ検討していただきたい。

おおむねの理解というのは、サウンディングの結果説明会や、区長及びPTAとの意見交換等を含め、全体的にということである。

既存の荳崎保健センターの延べ床面積を教えてください。また、プラン1、2については、民間事業者が撤退した場合、公的施設はどうなってしまうのか。

延べ床面積は約1,300㎡。民間事業者が撤退した場合に関しては、公募条

件や賃貸借契約の中で支障が生じないように進めていきたい。

荳崎保健センターには保健師が常駐しておらず、谷田部保健センターに相談しなければいけないため、荳崎保健センターに保健師を常駐させたほうが良いかと思う。また、現在、食生活改善推進委員として調理室を利用しているが、調理室を利用する際も谷田部の保健センターに連絡しなければいけないため、荳崎保健センターをリフォームして利用しやすいようにしてほしい。

必要な機能については担当部署に伺いながら、プランを作成している。集団健診は代替の場所を確保しなければならないが、担当部署からは、集団健診の日数や会議室の確保から、健診を交流センターで実施することは難しいと聞いている。

過去の庁舎跡地利活用に関する住民説明会で、高齢者のための施設を整備していただけないかとの話があったかと思うが、検討はされたのか。

庁舎跡地から半径 800m 圏外に、庁舎跡地に来ることができない高齢者が多く存在すると思うが、そのような高齢者に対する救済をどのように考えているのか。カスミの移動販売が宝陽台にも来ているが利用者が少ないことから、回数も少なくなっている。

以前、そのような御意見があり、庁内で共有しているが、担当部署から高齢者のための施設を整備するとの考えは、現時点においては聞いていない状況である。

カスミが移動販売を実施しており、利用実績が少ないことも把握しているが、今後の計画について把握していない状況。

商業施設の立地について、近隣のスーパーが撤退していく現状では、厳しいのではないか。

建物撤去後に保健センター機能をどうするのか考えていただきたい。つくば市全体では人口が増加しており、保健センターは3箇所ですり足るのか。荳崎の中心であった場所を商業施設としてしまって良いのか、しっかりと議論していただきたい。

計画を進めていく場合は、民間事業者に出店していただかないといけないため、公募条件の整理とともに、民間事業者に対するヒアリングを実施したいと考えている。

限られた敷地、また、市の財政状況もあるなかで、地域の日常生活の利便性向上が必要と考え、本日は、その調査結果を説明させていただいている。

新たに公共施設を整備した場合、集団健診はどこで実施するのか。

担当部署から聞いているのは、代替施設の確保が必要であるが、具体的に決まってはいないという状況。

スーパーができそうだという方向性が見えたのは良かった。入り口が県道に面しており渋滞の発生が予測される。一方通行での進入等、車の流れを考えないといけないのではないか。

交通量については、国の調査結果を基に分析し、現段階では大きな影響はなく、限定的と考える。

茎崎保健センターは、以前は、保健師が常駐し、相談機能の中心的な役割を担ってきた。これまで、何とか保健師が常駐するよう要望してきたが、なかなか実現されない。集団健診は実施されており、近場で健診が実施されることは、高齢者にとっても有りがたく、谷田部で実施されるなんてとんでもない話である。茎崎保健センターの建物を解体した場合でも、集団健診等、同様の機能は設けてほしい。現在の機能が維持できないのであれば、スーパーは必要ない。

担当部署に伝え、検討する。

私が住んでいる地区だと牛久や佐貫へ買物に行くため、庁舎跡地を活用していただけないかと期待している。ぜひ早急に進めてほしい。

保健センターは必要な機能と考える。商業施設と公共施設の建物は別に整備すべき。概算金額が出てるということは、すでに検討が進んできたと考えられ、規模もある程度具体化していると思うので、茎崎の活性化に向けて早急に話を進めていただきたい。

これまでの茎崎地区の経緯を踏まえると、庁舎跡地にスーパーが出店しても、撤退すると考える。また、30～40年後には保健センターがなくなっていることすら考えられることを踏まえると、保健センター機能を残していただけないか。

スーパーの出店意向が示されなかった場合はどうするのか。

保健センター機能については、担当部署に伝える。

スーパーではなく、商業施設と表現しているが、事業者と話を進めているわけではないため、現時点では出店していただけるかは申し上げることができない。撤退の可能性もあるため、公募条件等において検討していかなければいけないと考える。

人口減少時代でもヒトが減らないようにすれば良いわけで、市役所では当然そういったことも考えている。荳崎の人口を減少させないようにするために、庁舎跡地に食の拠点を整備するということで、保健センター機能については、有識者会議等で議論がされるはずである。今のやり方で進めてほしい。

荳崎地区も周辺では若い人たちが引っ越してきているが、若い人たちは食が一番だとは思っていない。若い人たちのために、市民のための公共施設があることが一番大切だと考える。

今回のような場を、できれば年内にまた設けていただきたい。

以 上